

授業科目名 (英訳)	リスクマネジメント論 Risk Management					担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 准教授・金村 宗				
配当学年	1・2・3 回生	単位数	2	開講年度 開講期	H27 後期	曜時間	木/2	授業形態	講義	使用言語	英語
〔授業の概要・目的〕											
<p>本講義ではビジネスの不確実性をマネージするリスク管理手法の基本概念について説明するとともに、リスクマネジメントを戦略的アクションに繋げる実践的方法について論じる。モジュール1ではリスク管理の既存手法を紹介する。モジュール2ではリスクヘッジの実際について論じ、モジュール3ではリスク・リターン両睨みで新たな戦略を見出すプロセスを紹介した上で、グループディスカッションを組み入れて議論を深める。モジュール1ではまずリスクを定義し、企業活動上の市場・信用リスク等の計測・管理について説明する。市場リスクではVaRの概念を導入し、信用リスクでは将来の再構築コストによるリスク量を算出、企業の格付け情報と併せてリスク資本を求める手法について述べる。モジュール2では戦略的リスク管理ツールである派生証券の価値評価と派生証券を用いたリスクヘッジについて論じる。資産価格理論の基本的な概念を説明したのち、完備市場の価格付けに加え、非完備市場の資産価格理論として資産価格が価格範囲で評価できることを示す。スワップなどの派生証券を使った企業活動における市場リスクのヘッジ事例についても論じる。モジュール3では現代ポートフォリオ理論について説明したのち、リスクとリターンの観点から理論を戦略的アクションに繋げる実務への応用例として、電力会社を燃料・排出権・電力などのエネルギー商品のポートフォリオと看做し、ポートフォリオ理論(最適化)を使って電力会社における発電設備の最適構成を決定する事例を示す。</p>											
〔到達目標〕											
リスクマネジメントの基礎と応用を学ぶことで、学生自身の研究に新たな視座を与える。											
〔授業計画と内容〕											
モジュール1											
【第1回】 リスクマネジメント論の概要と目的											
【第2回】 市場リスク											
【第3回】 信用リスク											
【第4回】 オペレーショナルリスク											
モジュール2											
【第5回】 資産価格理論の基礎											
【第6回】 完備市場の価格付け											
【第7回】 非完備市場の価格付け											
【第8回】 天候デリバティブのプライシング											
【第9回】 リスクヘッジの実際(エネルギーデリバティブとエネルギーспレッドの取引事例)											
モジュール3											
【第10&11回】 現代ポートフォリオ理論(平均分散アプローチ)											
【第12回】 現代ポートフォリオ理論の応用：電力会社の最適設備構成											
【第13回】 リスクマネジメントのチャレンジ：新たなリスク指標											
【第14回】 エネルギー企業のリスクマネジメント：ディスカッション											
【第15回】 本講義のまとめと将来の方向性											
〔履修要件〕											
特になし											
〔成績評価の方法・観点及び達成度〕											
講義で出題されるクイズとタームペーパーに加え、出席を考慮して評価する。											

〔教科書〕

印刷資料を配布する。

〔参考書等〕

Luenberger David G., Investment Science, New York, Oxford University Press, 1998

〔授業外学習（予習・復習）等〕

別途指示する

〔その他（オフィスアワー等）〕

(連絡先) 金村 宗 kanamura.takashi.3u@kyoto-u.ac.jp